

(速報)消費生活相談の概要<2024年4月~2024年6月>

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和6(2024)年8月

令和6年度(2024年4月~2024年6月)に寄せられた消費生活相談件数は、1,053件でした。前年同期と比べ、2件減少(0.2%減)しています。一方、愛知県全体では約13.3%減、全国では約11.8%減となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計	
2024年4月~2024年6月	548	256	109	32	63	5	40	1,053	
構成比(%)	52.0	24.3	10.4	3.0	6.0	0.5	3.8	100.0	
前年4月~6月	542	256	93	64	68	5	27	1,055	
対前年	件数(件)	6	0	16	△32	△5	0	13	△2
	率(%)	1.1	0.0	17.2	△50.0	△7.4	0.0	48.1	△0.2

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答。

■相談窓口別件数(表1-2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	総合センター	豊川センター	蒲郡センター	新城センター	田原センター	計	
2024年4月~2024年6月	594	257	103	37	62	1,053	
構成比(%)	56.4	24.4	9.8	3.5	5.9	100.0	
前年4月~6月	573	259	84	70	69	1,055	
対前年	件数(件)	21	△2	19	△33	△7	△2
	率(%)	3.7	△0.8	22.6	△47.1	△10.1	△0.2

- 相談者居住地域別では、豊橋市、蒲郡市は増加し、新城市、田原市は減少しました。
- 相談窓口別では、豊橋市、蒲郡市は増加し、豊川市、新城市、田原市は減少しました。
- 全体件数は横ばい状態で、依然としてインターネット通販に関する相談が最も多く(前年340件→294件)、電子広告(172件→161件)、SNS(105件→113件)、電話勧誘(80件→93件)をきっかけとする相談や、解約(316件→276件)、契約書・書面(157件→184件)、定期購入(110件→114件)に関する相談も多くありました。

■相談者年代別件数(表2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

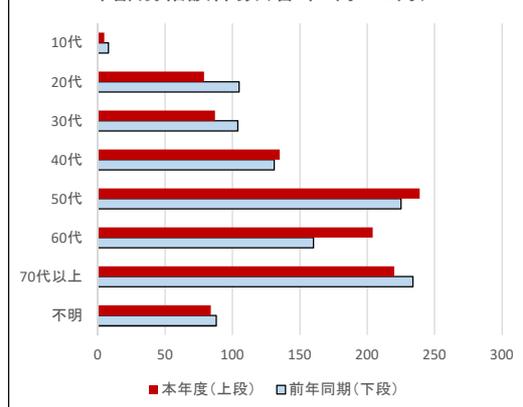
区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計	
2024年4月~2024年6月	5	79	87	135	239	204	220	84	1,053	
構成比(%)	0.5	7.5	8.3	12.8	22.7	19.4	20.9	8.0	100.0	
前年4月~6月	8	105	104	131	225	160	234	88	1,055	
対前年	件数(件)	△3	△26	△17	4	14	44	△14	△4	△2
	率(%)	△37.5	△24.8	△16.3	3.1	6.2	27.5	△6.0	△4.5	△0.2

- 年代別では40代~60代で増加し、10代~30代と70代以上で減少しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、10件で大きく減少しました(前年22件)。
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、13件で増加しました(前年11件)。
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、50件で減少しました(前年52件)。
- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、113件で増加しました(前年105件)。
- ・絶対儲かると言われて、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、8件で大きく減少しました(前年16件)。

年齢別相談件数(各年4月~6月)



■品目別相談件数(表3-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③
		商品一般	保健衛生品	教養娯楽品	食料品		金融・保険	教養・娯楽	他の役務	運輸・通信		
2024年4月～ 2024年6月	528	129	87	80	65	500	109	88	79	70	25	1,053
構成比(%)	50.1	12.3	8.3	7.6	6.2	47.5	10.4	8.4	7.5	6.6	2.4	100.0
前年4月～6月	550	101	104	83	62	486	102	106	60	74	19	1,055
対前年 件数(件)	△22	28	△17	△3	3	14	7	△18	19	△4	6	△2
対前年 率(%)	△4.0	27.7	△16.3	△3.6	4.8	2.9	6.9	△17.0	31.7	△5.4	31.6	△0.2

- ①商品計は、528件(前年比△22件・△4.0%)で減少しました。
商品分類では「商品一般」が最も多く、129件(前年比28件・27.7%)で増加しました。
次に化粧品品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」の87件(前年比△17件)でした。
- ②サービス計は、500件(前年比14件・2.9%)で増加しました。
サービス分類では「金融・保険」が最も多く、109件(前年比7件・6.9%)で増加しました。

■商品等別相談件数(表3-2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分(順位)	1	2	3	4	5	6	7	7	9	9
2024年4月～ 2024年6月	商品一般	フリーローン・サラ金	役務その他サービス	賃貸アパート	化粧クリーム	光ファイバー	普通・小型自動車	相談・その他	他の健康食品	携帯電話サービス
	129	56	38	25	22	20	19	19	17	17
前年4月～6月	101	44	39	22	6	22	14	13	23	12
対前年 件数(件)	28	12	△1	3	16	△2	5	6	△6	5
対前年 率(%)	27.7	27.3	△2.6	13.6	266.7	△9.1	35.7	46.2	△26.1	41.7

- ・「商品一般」は129件(前年比28件・27.7%)で最も多く、増加しました。
- ・次いで「フリーローン・サラ金」は56件(前年比12件・27.3%)で増加しました。
- ・「化粧クリーム」は22件(前年比16件・266.7%)で増加率が最も大きくなりました。
- ・「他の健康食品」は17件(前年比△6件・△26.1%)で減少率が最も大きくなりました。

■販売購入形態別相談件数(表4)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外取引計	不明・無関係	計
		訪問販売	通信販売	電話勧誘販売	マルチ商法	その他			
2024年4月～ 2024年6月	247	70	378	63	6	16	533	273	1,053
構成比(%)	23.5	6.6	35.9	6.0	0.6	1.5	50.6	25.9	100.0
前年4月～6月	232	62	425	63	11	19	580	243	1,055
対前年 件数(件)	15	8	△47	0	△5	△3	△47	30	△2
対前年 率(%)	6.5	12.9	△11.1	0.0	△45.5	△15.8	△8.1	12.3	△0.2

- 店舗購入は247件(前年比15件、6.5%)で増加しました。
- 店舗外取引は533件(前年比△47件・△8.1%)で減少しました。

【内訳・詳細】

- ・店舗購入では「フリーローン・サラ金」が最も多く28件(前年17件)で、次いで「賃貸アパート」が24件(前年17件)でした。
- ・店舗外取引では「通信販売」が最も多く、378件(前年425件)で、次いで、「訪問販売」が70件(前年62件)でした。
- ・「訪問販売」では「新聞」が最も多く8件(前年1件)で、次いで「屋根工事」が6件(前年1件)でした。
- ・「通信販売」では「商品一般」が最も多く30件(前年31件)で、次いで「化粧クリーム」が22件(前年6件)でした。
- ・「電話勧誘販売」では「役務その他サービス」が最も多く10件(前年5件)で、次いで、インターネット接続回線を含む「光ファイバー」が8件(前年9件)でした。
- ・その他に含まれる「訪問購入」では「被服品」が最も多く3件(前年1件)、次いで「商品一般」「ネックレス」が共に2件(前年1件)で、全体で16件(前年9件)でした。

